

生薬の力を、 現代化学で 証明する。

古くからの知恵に基づいた、生薬。

植物など、天然の物質を利用して薬にしたものを生薬と言う。健康志向の高まりとともに注目を集めているが、その効能はあくまで「これを食べたら薬になった」という古くからの知恵に基づいたものでしかない。そこで池田研究室では生薬を化学的に分析し、効能をもたらす成分をつきとめる研究を進めている。



Photo: 薬学部キャンパス(池田) 薬用植物園

※糖化とはタンパク質と糖が結びついて老化物質を生成する反応

成分の実証で広がる、 未来への可能性。

古来より滋養強壮薬として著名な、イカリソウ。池田研究室では、コラーゲンの糖化※を抑える働きを新たに発見したが、その働きをどの成分が担っているのかは明らかにされていなかった。そこで、実験を繰り返し「プレニルフラボノイド」の一種が糖化を抑制するという見解を導き出した。今後ますます研究が進めば、糖尿病の合併症予防薬や抗老化の化粧品など多方面での応用が期待される。



▲イカリソウを刻んだもの

プロポリスの成分で、 多くの命を救いたい。

現在、池田研究室では学外の研究者とともに、がん治療の副作用の一つ、歯周病治療にプロポリスを臨床試験中である。プロポリスを分離装置に付し、菌の繁殖を阻止する試験管を選ぶ作業をひたすら繰り返すことで、活性成分をあぶりだしていく。地道な研究だが、研究生たちも熱心に取り組んでいる。「成分が明らかになれば多くの命を救えるかもしれない」と池田教授も期待を寄せている。



▲プロポリスの原塊

薬学部薬学科
薬用植物園
研究室
池田 剛 教授

▶ 池田研究室メンバー 左から

- 4年生 草野さん(熊本県/熊本学園大学付属高校出身)
- 4年生 川添さん(宮崎県/日南学園高校出身)
- 4年生 祝さん(鹿児島県/志学館高等部出身)
- 5年生 由比さん(福岡県/筑紫女学園高校出身)
- 4年生 高木さん(熊本県/真和高校出身)
- 5年生 浦さん(熊本県/玉名高校出身)

池田研究室では、
薬草園の管理も行っています。

